

1. 達成度評価シート（年度 実績評価用）

〈評価点〉
5点：年度計画を大幅に上回って実施している
4点：年度計画を上回って実施している
3点：年度計画どおり順調に実施している
2点：年度計画を十分に実施できていない
1点：年度計画を実施できていない（未実施）

戦略（直接目的）				アクションプラン（具体的手段）				
中項目	内容	R4 市長評価		小項目	内容	R4	R4	R4 評価委員会 意見（要旨）
		評価の理由				法人評価	市長評価	
1	活動の基盤をなす人材及び資料等の充実並びに施設及び設備の整備	組織運営体制の確立とともに、博物館等資料の収集やアーカイブ化も計画的に実施されている。加えて、大規模改修工事（市立美術館、東洋陶磁美術館）についても、市立美術館の改修工事において予期せぬ事由により事業の年度繰越が発生したものの、結果的に工事は当初予定期間内で完了する見込みとなっており、全体としては計画通りの取組ができたと評価する。	3	1	博物館等資料の新たな収集	3	3	法人の自己評価と市長の評価における評価ポイントに差異が見受けられる。
				2	防災及び防犯を含めた博物館等資料の適切な保管及び将来への継承	3	3	
				3	博物館等資料に関する情報及び資料の収集、整理及び提供	3	3	
				4	法人の活動の中核を担う専門的な人材の安定的確保及び育成	3	3	
				5	博物館等資料並びにその保管及び公衆の観覧に関する調査研究	3	3	
				6	博物館等の運営に関する調査研究及び評価等	3	3	
				7	博物館等資料の保全及び効果的な活用のための計画的な修復	3	3	
				8	博物館等の施設として必要な機能及び快適な利用環境の確保に向けた各館の施設の計画的な整備及び改修	4	3	
				9	調査研究活動等の拡充を目指した外部資金の獲得	3	3	
				10	バリアフリー及びユニバーサルデザインに配慮した各館の施設の計画的な整備及び改修	3	3	
				合計		31	30	
2	幅広い活動及び連携を通じた博物館等の魅力の効果的な発信	コロナ禍においても感染予防対策を取り来館者を迎えるとともに、オンラインでの情報発信などにも取り組んでいる。 また、所蔵品の貸出しなどにより他館との連携、相互支援を通じた効果的な活用も図られている。 加えて、各館の建物や付帯施設を活用した幅広い事業を行うなど、全体として計画を上回る取組が行われたと評価できる。	4	11	常設展における展示替え	4	4	
				12	自主企画による特別展等の充実による展示活動の活性化	2	2	
				13	博物館等資料並びにその保管及び公衆の観覧並びにそれらの調査研究に関する教育及び普及の事業を行うこと	3	3	
				14	多様な媒体及び手段を通じた調査研究その他の活動の成果の公開	3	3	
				15	博物館等資料の貸出し及び他の博物館等関係機関の資料の借用	4	4	
				16	各館の枠を超えた知識及び経験等の共有並びに展示及び広報等における戦略的連携	3	3	
				17	ICT等を活用した博物館等資料に関するさまざまな情報の有効利用及び博物館等資料のアーカイブ化による公開の推進	3	3	
				18	他の博物館等関係機関との相互支援及び協働を通じた相互の資源の保全及び効果的な活用	3	3	
				19	各館の建物及びその附帯設備等を有効活用した幅広い事業の実施	4	4	
				合計		29	29	
3	戦略的広報の展開	メディアや鉄道事業者などへの働きかけとともに、紙媒体やSNSでの情報発信など様々な媒体、手法をもとにした広報活動を展開するなど、全体として計画通りの取組が行われたと評価できる。	3	20	広報の対象及び時機並びに媒体の特徴を捉えた迅速で柔軟な情報発信	3	3	
				21	マスメディア等への積極的な情報発信	3	3	
				22	各館の枠を超えたマーケティングの実施及びその結果に基づく広報戦略の策定	3	3	
				23	生涯学習に関する施設その他の博物館等に関連する施設及びその事業者との連携及び協働を通じた広報活動の展開	3	3	
				24	各館の職員の専門的な知識及び技能を活かした効果的な広報活動の展開	3	3	
				合計		15	15	

戦略（直接目的）				アクションプラン（具体的手段）				
中項目	内容	R4 市長評価		小項目	内容	R4 法人評価	R4 市長評価	R4 評価委員会 意見（要旨）
		評価の理由						
4	ソフトの充実及び利用者の受入れ体制の整備	コロナ禍の影響を受け目標人数に未達の展覧会が複数あるものの、展覧会は予定通り開催できている。 また、旅行事業者との協働による周遊型プログラムにより多様な層の来館者の獲得が図られているなど、全体として計画通りの取組が行われたと評価できる。	3	25	マスメディア等と連携した特別展及び企画展の誘致	3	3	
				26	さまざまな利用者の受入れ体制の充実	3	3	
				27	多言語表記等による外国人の受入れ体制の充実	3	3	
				28	芸術文化に係る団体への成果発表の機会の提供及び当該団体の活動の奨励	3	3	
				29	さまざまな事業者等と連携した観光客の獲得	3	3	
				合計		15	15	
5	周辺エリアで活動するさまざまな事業者等との連携	各館の周辺エリアの事業者との連携による広報や相互割引の実施に加え、イベントなどの共同事業を実施するなど、全体として計画通りの取組が行われたと評価できる。	3	30	各館の近隣の施設及び周辺エリアで活動するさまざまな事業者等との連携による広報及び誘客	3	3	
				31	各館の近隣の施設及び周辺エリアで活動するさまざまな事業者等と協働して行うイベントの企画及び実施	3	3	
				合計		6	6	
6	民間企業等との協働等	民間企業と協働した展覧会関連グッズの開発・販売のほか、民間企業等への館蔵データの提供など、全体として計画通りの取組が行われたと評価できる。	3	32	各館の売店等における民間企業等と連携したサービスの充実	4	4	
				33	民間企業等との協働による各館の活動に関連する商品及び技術の開発	3	3	
				34	博物館等資料及び関連情報を活用した民間企業等の活動の支援	3	3	
				合計		10	10	
7	こども及び教員等への支援	こども向けのワークショップ及び教員向けの研修等支援事業など、全体として計画通りの取組が行われたと評価できる。	3	35	こども向けワークシートの作成及びワークショップ等の実施	3	3	
				36	教員等を対象とした研修及び教材の開発に係る支援の実施	4	4	
				合計		7	7	
8	幅広い利用者への支援	大学との包括連携協定に基づく各種講義の提供に加え、博物館実習、インターンの受入れといった教育活動支援など、全体として計画通りの取組が行われたと評価できる。	3	37	学生その他の専門的な知識の習得を目指す者への支援の実施	3	3	
				38	博物館等資料並びにその保管及び公衆の観覧並びにそれらの調査研究に関する教育及び普及の事業を行うこと（再掲13）	3	3	
				39	多様な媒体及び手段を通じた調査研究その他の活動の成果の公開（再掲14）	3	3	
				40	多言語表記等による外国人の受入れ体制の充実（再掲27）	3	3	
				合計		12	12	
9	参画機会の提供	ボランティアなどの参画機会の提供及び意見交換の実施、活動・学習成果の発表の場の提供など、全体として計画通りの取組が行われた評価できる。	3	41	ボランティア及びNPOの各館の活動への参画の促進	3	3	
				42	各館の活動に関する利用者との対話の機会及び場の設定	3	3	
				43	さまざまな人々が自らの学習成果を活用して行う教育活動の機会の提供及びその奨励	3	3	
				合計		9	9	
10	大阪中之島美術館の開館に向けて	今回の評価項目としてはなし （令和3年度で評価終了）	—	44-1	工事定例会や整備内容に関する協議等に積極的に参加し、情報の収集を行う(追加)	—	—	
				44-2	学芸員の視点が整備内容に適切に反映されるよう、大阪市に助言を行う(追加)	—	—	
				44-3	コレクション展及び企画展の開催の準備	—	—	
				45	新たな博物館等資料の収集	—	—	
				旧46	博物館等資料の公開に向けた修復及びアーカイブ化	—	—	
				46	開館記念企画展の準備	—	—	
				47	開館に向けた機運の醸成	—	—	
				48	大阪中之島美術館をともに運営するPFI事業者の選定	—	—	
				合計		0	0	

戦略（直接目的）				アクションプラン（具体的手段）				
中項目	内容	R4 市長評価		小項目	内容	R4 法人評価	R4 市長評価	R4 評価委員会 意見（要旨）
		評価の理由						
11	人材の活用と育成	学芸員の再雇用制度を創設し、知識やノウハウを持った職員を引き続き配置できるよう整備するとともに、職員研修を通じて職員のスキルアップを図るなど、全体として計画通りの取組が行われたと評価できる。	3	49	職員の能力が発揮できる組織体制の構築及び適切かつ柔軟な人員配置	3	3	
				50	職員のスキルアップを図るための学習機会の確保	4	4	
				51	包摂的な社会にふさわしい人材の獲得	3	3	
				52	法人の活動の中核を担う専門的な人材の安定的確保及び育成（再掲4）	3	3	
				合計		13	13	
12	評価制度の活用	事業評価制度や人事評価制度に基づき、全体として計画通りの取組が行わたと評価できる。	3	53	法人の中期計画及び年度計画における適正な目標設定及び自己評価	3	3	
				54	能力に応じた人事評価の実施	3	3	
				55	法人の適正な目標設定及び評価の基礎となる運営に関する調査研究の実施	3	3	
				56	インセンティブが適正に働く人事制度の導入	3	3	
				合計		12	12	
13	ＩＣＴの導入及び活用・民間活力の導入	各種システムも順調に稼働していることに加え、民間活力導入として新たなデジタルプロモーションの実施など、全体として計画通りの取組が行われたと評価できる。	3	57	財務、会計、勤怠、人事及び給与業務等におけるシステムの導入及び活用	3	3	
				58	事業効果を見極めた外部委託の推進	3	3	
				59	専門的な知識又は技能を有する民間の人材の登用	3	3	
				60	民間事業者等の外部からの意見を聴取する仕組みの導入	3	3	
				合計		12	12	
14	収入の確保	デジタル化による新規利用者層の開拓に加え、収入確保に向け寄附金獲得の新たな企画・検討が進められており、全体として計画通りの取組が行われたと評価できる。	3	61	幅広い利用者の獲得及び法人資産の有効活用による収入の増加	3	3	寄附金と料金収入は分けて評価をするべき
				62	各館の活動への理解と支援に基づく寄附金等の積極的な獲得	2	3	
				合計		5	6	
15	経費の節減	競争入札の実施や一括購入など、全体として計画通りの取組が行われたと評価できる。	3	63	契約の方法、期間及び単価の見直しによる経費の縮減	3	3	
				64	共同調達による経費の縮減	3	3	
				合計		6	6	
16	環境整備	「理事会」「経営会議」「総務連絡会」「学芸連絡会」などの定期的な開催のほか、契約監視委員会の開催、監事による各種会議への出席など内部統制の強化が実施されており、全体として計画通りの取組が行われていると評価できる。	3	65	法人として内部統制に必要な規程及び体制の整備並びに法人内での周知徹底	3	3	
				66	研究者及び学芸員として必要な規程及び体制の整備並びに法人内での周知徹底	3	3	
				67	各職階及び各職域に応じた必要な権限の付与及び責任の明確化	3	3	
				68	法人の各機関への適切な権限の配分及び各機関における適切な意思形成の確保	3	3	
				69	情報共有に必要なイントラネットをはじめとするＩＣＴの活用の促進	3	3	
				70	内部監査等による定期的な内部点検及び監事による監査の確実な実施	3	3	
				合計		18	18	

戦略（直接目的）				アクションプラン（具体的手段）				
中項目	内容	R4 市長評価		小項目	内容	R4 法人評価	R4 市長評価	R4 評価委員会 意見（要旨）
		評価の理由						
17	重要なリスク回避のための体制の構築	リスク管理委員会の開催により各館におけるリスクの洗い出しが行われている一方で、個人情報漏洩の問題が発生していることから、改めて事務工程の検証など対策の強化が必要である。 一方、HPなどネットワークセキュリティ上の検討も実施されており、全体としては計画通りの取組が行われたと評価できる。	3	71	リスク管理体制の整備及び組織全体で取り組むべき重要なリスクの評価	3	3	市立美術館の大規模改修工事において、情報共有における課題が見られる。
				72	ネットワークセキュリティの強化	2	2	ハード的な対応とともにソフト面での対応も含めてセキュリティ強化を図っていくべき
				合計		5	5	
18	利用者等の安全確保	新型コロナ対策ガイドラインに沿った対策が実施されたことに加え、施設整備・改修についても計画的に実施されるなど、全体として計画通りの取組が行われたと評価できる。	3	73	利用者及び職員等の安全確保に必要な体制の整備及び各館で業務に従事する関係者への安全意識の周知徹底	3	3	
				74	博物館等の施設として必要な機能及び快適な利用環境の確保に向けた各館の施設の計画的な整備及び改修（再掲8）	3	3	
				75	バリアフリー及びユニバーサルデザインに配慮した各館の施設の計画的な整備及び改修（再掲10）	3	3	
				合計		9	9	
19	環境保全の取組み	「環境に配慮した取組みの指標化」は行われたものの、その達成度の公開などについては実施されていないことから、早急に改善すべきである。一方で、環境に配慮した取組は様々な手法で行われており、全体としては計画通りの取組が行われたと評価できる。	3	76	省エネ機器の使用の推奨及び適正な空調温度の設定	3	3	
				77	再生紙その他の資源の有効利用の促進	3	3	
				78	環境に配慮した取組みの指標化及びその公開	3	3	
				79	新たな省エネルギーの実現に向けた取組みの推進	3	3	
				合計		12	12	
20	情報公開の推進	ホームページを通じた機構の運営状況の開示が適切になされるとともに、今年度は情報公開請求はなかったものの、規定に基づく対応を図ることとされており、全体としては計画通りの取組が行われたと評価できる。	3	80	ホームページ等を通じた情報の積極的な公開	3	3	
				81	情報公開請求に対する迅速な対応	3	3	
				合計		6	6	
合計	年度計画どおり順調に実施：57点（3点×19項目）10除く		58	総合計	年度計画どおり順調に実施：228点（3点×76項目）（44-48除く）	232	232	

（２）全体評価（年度実績評価）

令和４年度の取組としては、工夫を凝らしたテーマ展示や巡回展などにより全体として年度目標を上回る来館者を迎えたこと、また、改修休館中の館において博物館等資料を積極的に外部へ貸出しコレクションの活用を図ったことに加え、各館の建物等を有効活用したユニークベニユーの取組や民間企業と協働したミュージアムグッズ開発による収入確保の取組などが評価できる。 また、文化庁補助金を活用した小学生向けオンライン授業鑑賞学習コンテンツの開発などの教員等への支援とともに、博物館機構職員のスキルアップに向けた研修の実施など人材育成も着実に実施されている。 ネットワークセキュリティ上の問題について、ハード面だけでなくソフト面でも対策に取り組むとともに、その他の事務事業においてもリスクを未然に防ぐために事務工程の検証、及び職員研修など定期的な対応が必要と考えられる。 引き続き、大阪市博物館機構としてマネジメントを発揮し、継続的な改善、来館者のニーズに沿った柔軟な運営とともに、国内外における各館の認知度向上に努めていきたい。
--